

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(浸水防護施設(方針))

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
No.1～89は、NS2-他-239改05で整理済みのため省略。						
90	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.目-2	5.3.1 取水槽水位計の「(1) 評価方針」を削除しました。	2023/3/2	
91	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.4	図2-1について、強度計算を実施する対象施設がわかる図に適正化しました。	2023/3/2	
92	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.5 他	「3.1.1 津波防護施設」のうち防波壁の構造形式について、漂流物対策工を追記しました。	2023/3/2	
93	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.5 他	下記のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)漂流物対策工 (新)漂流物対策工(鉄筋コンクリート版)	2023/3/2	
94	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.6 他	下記のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)漂流物対策工 (新)漂流物対策工(鉄筋コンクリート版)及び漂流物対策工(鋼材)	2023/3/2	
95	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.6	防波壁(波返重力擁壁)の構造概要について、下記のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)防波壁(波返重力擁壁)は、直接岩盤に支持される鉄筋コンクリート造の重力擁壁並びにマンメイドロック(以下「MMR」という。)及び改良地盤を介して岩盤に支持される鉄筋コンクリート造の重力擁壁及びケーソンで構成し、… (新)防波壁(波返重力擁壁)は、堅固な地山の岩盤、又はマンメイドロック(以下「MMR」という。)を介して岩盤又は改良地盤に支持される鉄筋コンクリート造のケーソンによる直接基礎構造と、鉄筋コンクリート造の重力擁壁で構成し、…	2023/3/2	
96	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.6 他	防波壁通路防波扉の構造形式について、防波壁通路防波扉のうち荷揚場南、3号機東側に漂流物対策工を設置する旨を追記しました。	2023/3/2	
97	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.6 他	下記のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)流路縮小工 (新)1号機取水槽流路縮小工	2023/3/2	
98	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.10 他	「3.2.1 防波壁」のうち防波壁の構造設計、評価方針及び表3.2-1について、漂流物対策工を追記しました。	2023/3/2	
99	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.10	防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の改良地盤を設置する理由について、下記のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)多重鋼管杭式擁壁の陸側に難透水性を保持するために改良地盤を設置する。 (新)地盤中からの回り込みによる流入を防止(難透水性を保持)するために改良地盤を設置する。	2023/3/2	
100	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.11 他	防波壁について、改良地盤・MMRについては、健全性及び止水性(難透水性)を保持する設計とするために、すべり破壊しないことを確認する旨を追記しました。	2023/3/2	
101	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.11 他	下記のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)極限支持力 (新)極限支持力度	2023/3/2	
102	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.12	防波壁(波返重力擁壁)の機能保持の方針について、放水路ケーソンを追記しました。	2023/3/2	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
103	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.12	岩盤、MMR、及び改良地盤の評価について、下記のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)接地圧が極限支持力に基づく許容限界以下 (新)接地圧が極限支持力度又は支圧強度に基づく許容限界以下	2023/3/2	
104	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.20～23	「3.2.2 防波壁通路防波扉」のうち防波壁通路防波扉の構造設計、評価方針及び表3.2-2について、設計の進捗に伴い、防波扉(1号機北側、2号機北側)を防波壁(多重鋼管杭式擁壁)に設置する旨、また防波扉(荷揚場南、3号機東側)の一部として漂流物対策工を設置し、防波扉に直接漁船等の漂流物が衝突しない構造とした旨を反映するため修正しました。	2023/3/2	
105	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.22	設計の進捗に伴い、表3.2-2(2/3)に説明図として防波扉(1号機北側)の図を追記しました。	2023/3/2	
106	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.24 他	1号機取水槽流路縮小工の評価方針について、下記のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)地震後の繰返しの来襲を想定した遡上波の浸水に伴う (新)地震後の繰返しの来襲を想定した経路からの津波の流入に伴う	2023/3/2	
107	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.24 他	1号機取水槽流路縮小工の名称について、下記のとおり適正化しました。 (旧)1号機取水管端部 (新)取水管(管胴部)及び取水管(フランジ部)	2023/3/2	
108	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.26	表3.2-3について、記載を適正化しました。	2023/3/2	
109	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.53	設計の進捗に伴い、表3.2-12の配置図において、漂流防止装置(係船柱)の数を適正化しました。	2023/3/2	
110	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.54,55	1号機取水槽流路縮小工の設計において考慮する津波荷重について、記載位置及び記載内容を適正化しました。	2023/3/2	
111	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.55	下記のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)19t (新)19ト	2023/3/2	
112	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.57 他	表4.1-1について、記載を適正化しました。	2023/3/2	
113	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.57	表4.1-1について、防波壁通路防波扉(1号機北側、2号機北側)における津波のパラメータのうち、流速の値及び注記番号を修正しました。(下線部参照)合わせて、1号機取水槽流路縮小工の設計津波水位を適正化しました。(下線部参照) (旧)10.0m/s ^{*5} (新)0.6m/s ^{*13}	2023/3/2	
114	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.57	表4.1-1について、1号機取水槽流路縮小工の設計津波水位を適正化しました。(下線部参照) (旧)8.3m/s ^{*8} (新)8.2m/s ^{*8} (旧)2.3m/s ^{*10} (新)2.4m/s ^{*10} (旧)2.8m/s ^{*12} (新)3.1m/s ^{*12} (旧)2.1m/s ^{*11} (新)2.4m/s ^{*11}	2023/3/2	
115	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.59	表4.1-1(3/3)のうち逆止弁の設計津波水位及び入力津波水位の誤記を修正しました。	2023/3/2	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
116	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.61	静水圧荷重と動水圧荷重に関して、それぞれの注記であることが分かるように適正化しました。 また狭隘な場所における漂流流速について注記を追記しました。	2023/3/2	
117	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.64他	表4.1-2について、記載を適正化しました。	2023/3/2	
118	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.69	防波壁(多重鋼管杭式擁壁)の鋼管杭の許容限界について、下記のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)降伏曲げモーメント及び許容せん断応力度 (新)降伏モーメント及び短期許容せん断力	2023/3/2	
119	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.69他	「4.2.1 施設ごとの許容限界」のうち防波壁について、漂流物対策工の許容限界の設定方法を追記しました。	2023/3/2	
120	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.70	下記のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)積載物風及び積雪による荷重 (新)積載物_風及び積雪による荷重	2023/3/2	
121	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.73	ケーソンの許容限界について、下記のとおり適正化しました。 (旧)「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説-許容応力度設計法-(社)日本建築学会、1999年)」 (新)「原子力発電所耐震設計技術指針JEAG4601-1987(日本電気協会)」	2023/3/2	
122	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.73	防波壁(波返重力擁壁)の許容限界について、放水路ケーソンを追記しました。	2023/3/2	
123	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.74	下記のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)浸水に伴う津波荷重、余震、漂流物の衝突、積載物、風及び積雪による荷重 (新)浸水に伴う津波荷重、漂流物の衝突、積載物、風及び積雪による荷重	2023/3/2	
124	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.74	防波壁(波返重力擁壁)のH形鋼の許容限界について、下記のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)許容せん断応力度 (新)短期許容せん断応力度	2023/3/2	
125	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.74	改良地盤、MMRの許容限界について、下記のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)改良地盤及びMMRの極限支持力を設定する。 (新)改良地盤及びMMRの極限支持力度又は支圧強度を設定する。	2023/3/2	
126	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.75	防波壁通路防波扉について、1号機北側、2号機北側の許容限界の設定根拠及び3号機東側のグラウンドアンカの許容限界の設定方法を追記し、章番号を修正しました。	2023/3/2	
127	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.76	防波壁通路防波扉について、漂流物対策工の許容限界の設定方法を追記し、岩盤の極限支持力の設定の章に改良地盤及びMMRを追加しました。	2023/3/2	
128	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.77	下記のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)b. 1号取水管端部 (新)b. 取水管(管胴部)及び取水管(フランジ部)	2023/3/2	
129	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.77	下記のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)b. 地震後の繰返しの来襲を想定した経路からの津波荷重 (新)b. 地震後の繰返しの来襲を想定した経路からの津波の流入に伴う津波荷重	2023/3/2	
130	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.78他	下記のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)「各種合成構造設計指針・同解説((社)日本建築学会、2010改定)」 (新)「各種合成構造設計指針・同解説((社)日本建築学会、2010年)」	2023/3/2	
131	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.80他	下記のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)「発電用原子力設備規格設計・建設規格(2005年度版(2007年追補版を含む))JSME NC1-2005/2007」 (新)「発電用原子力設備規格設計・建設規格((社)日本機械学会、2005/2007)」	2023/3/2	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
132	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.84他	表4.2-1の防波壁について、漂流物対策工の機能損傷モード及び許容限界を追記し、記載を適正化しました。	2023/3/2	
133	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.85	表4.2-1の防波壁(逆T擁壁)の機能損傷モードについて、アンカーによる支圧力、隣接する躯体同士の支圧力を追記しました。	2023/3/2	
134	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.87	表4.2-1(3/17)の防波壁(波返重力擁壁)の許容限界について、放水路ケーソンの許容限界を追記しました。また、ケーソンの適用基準について、以下のとおり適正化しました。 (旧)鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説-許容応力度設計法-(社)日本建築学会、1999年) (新)原子力発電所耐震設計技術指針JEAG4601-1987(日本電気協会)	2023/3/2	
135	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.88	改良地盤、MMR、岩盤の許容限界について、下記のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)極限支持力 (新)極限支持力度又は支圧強度	2023/3/2	
136	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.89,90	表4.2-1の防波壁通路防波扉について、1号機北側、2号機北側と荷揚場南、3号機東側の2つの表に分けてそれぞれの許容限界を記載しました。	2023/3/2	
137	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.90	表4.2-1(5/17)について、評価部位として漂流物対策工(扉体、戸当り)を追記しました。また、機能損傷モードにおける「応力等の状態」の記載を以下のように適正化しました。 (旧)すべり安全率 (新)すべり (旧)支持力 (新)接地圧	2023/3/2	
138	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.102他	表5.1-1について、漂流物対策工及び放水路ケーソンを追記し、記載を適正化しました。	2023/3/2	
139	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.103	表5.1-2の防波壁通路防波扉について、1号機北側、2号機北側と荷揚場南、3号機東側の2つの表に分けてそれぞれの評価部位および評価内容を記載しました。	2023/3/2	
140	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.104	下記のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)想定した経路からの津波荷重 (新)想定した経路からの流入に伴う津波荷重	2023/3/2	
141	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.104	表5.1-3について、固定ボルトの評価内容について適正化しました。	2023/3/2	
142	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.118	6. 適用規格・基準等について、下記の文献を追記しました。 ・鋼構造許容応力度設計規準((社)日本建築学会、2019年制定) ・港湾構造物設計事例集(沿岸技術研究センター、平成19年3月) ・コンクリート標準示方書[設計編]((社)土木学会、2012年制定) ・コンクリート標準示方書[設計編]((社)土木学会、2017年制定) ・道路橋示方書(I 共通編・II 鋼橋編)・同解説((社)日本道路協会、平成14年3月) ・道路橋示方書(V 耐震設計編)・同解説((社)日本道路協会、平成14年3月) ・原子力発電所屋外重要土木構造物の耐震性能照査指針・マニュアル((社)土木学会、2005年) ・構造力学公式集((社)土木学会、1986年)	2023/3/2	
143	NS2-添3-015-01改05	VI-3-別添3-1 津波への配慮が必要な施設の強度計算の基本方針	P.118	6. 適用規格・基準等について、下記のとおり記載を適正化しました。(下線部参照) これに伴い本文中の記載も併せて適正化しました。 (旧)グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説((社)地盤工学会、平成24年5月) (新)グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説((社)地盤工学会、2012年) (旧)各種合成構造設計指針・同解説((社)日本建築学会、2010改定) (新)各種合成構造設計指針・同解説((社)日本建築学会、2010年) (旧)水道施設耐震工法指針・解説 2009年版(公益社団法人 日本水道協会) (新)水道施設耐震工法指針・解説((社)日本水道協会、2009年版) (旧)港湾の施設の技術上の基準・同解説(国土交通省港湾局、平成19年7月) (新)港湾の施設の技術上の基準・同解説(国土交通省港湾局、2007年版) (旧)発電用原子力設備規格 設計・建設規格JSME S NC1-2005/2007((社)日本機械学会) (新)発電用原子力設備規格 設計・建設規格((社)日本機械学会、2005/2007)	2023/3/2	